



FPolicy スコープの設定の計画

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

FPolicyスコープの設定の計画	1
ONTAP FPolicyスコープ設定について学ぶ	1
FPolicyスコープを作成することの意味	1
スコープの優先規則について	2
FPolicyスコープの設定内容	2
ONTAP FPolicyスコープワークシートを完成させる	3

FPolicyスコープの設定の計画

ONTAP FPolicyスコープ設定について学ぶ

FPolicyスコープを設定する前に、スコープを作成することの意味を理解する必要があります。また、スコープの構成要素を理解する必要があります。さらに、スコープの優先規則についても理解する必要があります。この情報は、設定する値を計画するのに役立ちます。

FPolicyスコープを作成することの意味

FPolicyスコープを作成することは、FPolicyポリシーの適用範囲を定義することを意味します。Storage Virtual Machine (SVM) は基本の適用範囲です。FPolicyポリシーのスコープを作成する場合、スコープが適用されるFPolicyポリシーを定義する必要があり、さらにスコープを適用するSVMを指定する必要があります。

指定したSVM内にスコープをさらに制限するためのパラメータが数多くあります。スコープに含めるものを指定したり、スコープから除外するものを指定することでスコープを制限することができます。有効なポリシーにスコープを適用すると、ポリシー イベントのチェックがこのコマンドで定義したスコープに適用されます。

「include」オプションで一致が見つかったファイル アクセス イベントに対して通知が生成されます。「exclude」オプションで一致が見つかったファイル アクセス イベントに対しては通知は生成されません。

FPolicyスコープの構成では、次の設定情報を定義します。

- SVM名
- ポリシー名
- 監視対象または対象外にする共有
- 監視対象または対象外にするエクスポート ポリシー
- 監視対象または対象外にするボリューム
- 監視対象または対象外にするファイル拡張子
- ディレクトリ オブジェクトのファイル拡張子を監視対象にするかどうか



クラスタのFPolicyポリシーのスコープには、特に考慮すべき事項があります。クラスタのFPolicyポリシーは、クラスタ管理者が管理SVM用に作成するポリシーです。クラスタ管理者がそのクラスタのFPolicyポリシーのスコープも作成する場合、SVM管理者はそれと同じポリシーのスコープを作成することはできません。ただし、クラスタ管理者がクラスタのFPolicyポリシーのスコープを作成しない場合は、すべてのSVM管理者がそのクラスタ ポリシーのスコープを作成することができます。SVM管理者がそのクラスタのFPolicyポリシーのスコープを作成した場合、クラスタ管理者はそれ以降、その同じクラスタ ポリシーのクラスタ スコープを作成することはできません。これは、クラスタ管理者が同じクラスタ ポリシーのスコープを上書きできないためです。

スコープの優先規則について

スコープの構成では、次の優先規則が適用されます。

- `-shares-to-include``パラメータに共有が含まれていて、共有の親ボリュームが `-volumes-to-exclude``パラメータに含まれている場合、`-volumes-to-exclude``は `-shares-to-include``よりも優先されます。
- エクスポート ポリシーが `-export-policies-to-include``パラメータに含まれており、エクスポート ポリシーの親ボリュームが `-volumes-to-exclude``パラメータに含まれている場合、`-volumes-to-exclude``は `-export-policies-to-include``よりも優先されます。
- 管理者は `-file-extensions-to-include``リストと `-file-extensions-to-exclude``リストの両方を指定できます。

`-file-extensions-to-exclude``パラメータは、`-file-extensions-to-include``パラメータがチェックされる前にチェックされます。

FPolicyスコープの設定内容

以下はFPolicyスコープの設定に使用できるパラメータのリストです。設定を計画する際に使用してください。



スコープに含める共有、エクスポート ポリシー、ボリューム、およびファイル拡張子を設定する際、`include` および `exclude` パラメータに「`?``」 and `"*``」などのメタ文字を含めることができます。正規表現の使用はサポートされていません。

情報の種類	オプション
SVM FPolicyスコープを作成するSVMの名前を指定します。 各FPolicy設定は、単一のSVM内で定義されます。FPolicyポリシーの構成要素となる外部エンジン、ポリシー イベント、ポリシーのスコープ、およびポリシーを、すべて同じSVMに関連付ける必要があります。	<code>-vserver vserver_name</code>
ポリシー名 スコープをアタッチするFPolicyポリシーの名前を指定します。既存のFPolicyポリシーを指定する必要があります。	<code>-policy-name policy_name</code>
含める共有 カンマで区切って複数の共有を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。	<code>-shares-to-include share_name, ...</code>
除外する共有 カンマで区切って複数の共有を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。	<code>-shares-to-exclude share_name, ...</code>

<p>含めるボリューム スコープが適用される FPolicy ポリシーを監視するボリュームのコンマ区切りリストを指定します。</p>	<pre>-volumes-to-include volume_name, ...</pre>
<p>除外するボリューム</p> <p>カンマで区切って複数のボリュームを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-volumes-to-exclude volume_name、 ...</pre>
<p>含めるエクスポート ポリシー</p> <p>カンマで区切って複数のエクスポート ポリシーを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。</p>	<pre>-export-policies-to-include export_policy_name、 ...</pre>
<p>除外する <i>Export</i> ポリシー</p> <p>カンマで区切って複数のエクスポート ポリシーを指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-export-policies-to-exclude export_policy_name, ...</pre>
<p>含めるファイル拡張子</p> <p>カンマで区切って複数のファイル拡張子を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープに含めます。</p>	<pre>-file-extensions-to-include file_extensions, ...</pre>
<p>除外するファイル拡張子</p> <p>カンマで区切って複数のファイル拡張子を指定し、FPolicyポリシーの監視対象となるスコープから除外します。</p>	<pre>-file-extensions-to-exclude file_extensions, ...</pre>
<p>ディレクトリのファイル拡張子チェックは有効になっていますか？</p> <p>ファイル名拡張子のチェックをディレクトリ オブジェクトにも適用するかどうかを指定します。このパラメータを `true` に設定した場合、ディレクトリ オブジェクトは通常のファイルと同じ拡張子チェックの対象となります。このパラメータを `false` に設定した場合、ディレクトリ名の拡張子は照合されず、名前の拡張子が一致しない場合でもディレクトリに関する通知が送信されます。</p> <p>スコープが割り当てられている FPolicy ポリシーがネイティブ エンジンを使用するように設定されている場合、このパラメータを `true` に設定する必要があります。</p>	<pre>-is-file-extension-check-on-directories-enabled {true</pre>
<p>false</p>	<pre>}</pre>

ONTAP FPolicy スコープワークシートを完成させる

このワークシートを使用して、FPolicy スコープの設定プロセス中に必要となる値を記録できます。パラメータ値が必須の場合は、FPolicy スコープを設定する前に、そのパラメータに使用する値を決めておく必要があります。

FPolicyスコープの設定に各パラメータ設定を使用するかどうかを記録し、そのパラメータの値を記録しておきます。

情報の種類	必須	含める	値
Storage Virtual Machine (SVM) 名	はい	はい	
ポリシー名	はい	はい	
対象にする共有	いいえ		
除外する共有	いいえ		
対象にするボリューム	いいえ		
除外するボリューム	いいえ		
対象にするエクスポート ポリシー	いいえ		
除外するエクスポート ポリシー	いいえ		
対象にするファイル拡張子	いいえ		
除外するファイル拡張子	いいえ		
ディレクトリのファイル拡張子の監視が有効かどうか	いいえ		

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。